

高岡市立博物館年報

第 35 号

令和 2 年度

高岡市立博物館

は じ め に

高岡市立博物館は、当地の歴史・民俗・伝統産業にかかる資料の収集・保管、展示、また調査研究や教育普及など、さまざまな事業の継続と充実に努めています。令和2年(2020)6月、当館は開館50周年を迎え、今年度も多岐にわたる事業を実施しました。

まず展示事業として常設展「高岡ものがたり」（通年開催）では、高岡の歴史・民俗・伝統産業の分かりやすい紹介に努め、常設展内のお宝コーナーでは、5回のミニ展示を順次開催しました。前年度末から年度当初にかけて開催した館蔵品展「昔の道具とくらし」では、当館が収蔵する衣・食・住等の古い生活道具類「民具」に焦点をあて、それぞれの民具がもつ歴史や用途に加え、その時代を生きた人々の暮らしについて展示・紹介しました。高岡市立博物館開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」では、令和2年(2020)の開館50周年を記念して、当館がこれまで収蔵してきた高岡に関する資料のうち厳選した「お宝」を展示・紹介しました。館蔵品展「高岡ゆかりの屏風」では、高岡初の町絵師・堀川敬周(1789頃～1858)が描く《牡丹に孔雀図屏風》等2件の新発見資料をはじめ、未公開資料を含めた当館収蔵の高岡ゆかりの屏風を展示・紹介しました。館蔵品展「昔の道具とくらし」では、当館が収蔵する古い生活道具類「民具」を展示・紹介しました（特集展示コーナーでは、近年収蔵された初公開の古い消火器や火消装束等の消防関係資料を展示／次年度7月11日まで開催）。

教育普及事業としては、外部講師による郷土学習講座（3講）のほか、古文書講座（6講）を開催しました。また、「呈茶の会－博物館の松聲庵で抹茶を楽しみませんか－」（春・秋）の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により開催を見合わせました。そのほか、講師・委員の派遣協力、番組出演、寄稿、監修等のほか、高岡テクノドームでの博物館サテライトギャラリーも引き続き実施しました。

そのほか、高岡の歴史・民俗・伝統産業等に関する資料の収集・保存に努めました。調査研究活動では、日ごろ博物館に寄贈される資料の調査・整理に取り組みました。また昨年度に引き続き、国登録有形文化財「高岡鋳物の製作用具及び製品」の重要指定へ向けた当館収蔵の鋳物資料調査を行いました。加えて当館収蔵資料情報のデジタル化を進め、計935件の資料情報をインターネット上で公開しました。

地域の歴史と文化の継承という博物館の任務には、決して終わりはありません。それは幅広い方々のご理解、ご協力があってこそ、初めて可能になります。職員一同、さらに親しまれる博物館を目指して努力を重ねて参ります。日頃からのご協力に厚くお礼を申し上げますとともに、今後とも当館事業に一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和4年2月

高岡市立博物館
館長 廣瀬 由美子

目 次

I 事業の状況

1 展示事業

- (1) 常設展「高岡ものがたり－楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアム－」…1
- (2) 館蔵品展「昔の道具とくらし」……………1
- (3) 高岡市立博物館開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」……………1
- (4) 館蔵品展「高岡ゆかりの屏風」……………2
- (5) 館蔵品展「昔の道具とくらし」……………3

2 教育・普及事業

- (1) 郷土学習講座（全3講）……………4
- (2) 開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」講演会（全1回）……………6
- (3) 展示説明会……………6
- (4) 古文書講座「初めての古文書教室」（全6講）……………6
- (5) ワークショップ等……………7
- (6) 刊行物の発行……………8
- (7) 団体見学、展示解説対応……………9
- (8) 他団体への協力……………9
- (9) レファレンス……………14
- (10) インターネットによる広報・普及……………14

3 収集・保存活動

- (1) 購入資料……………15
- (2) 寄贈資料……………16
- (3) 保存活動……………17

4 調査・研究活動……………18

5 高岡市立博物館に親しむ会との連携……………18

II 管理運営の状況

- 1 職員名簿……………22
- 2 歳出予算……………22
- 3 高岡市立博物館協議会……………22
- 4 高岡市立博物館条例……………23
- 5 高岡市立博物館条例施行規則……………24
- 6 入館者数……………25
- 7 当館関連記事一覧……………26

III 施設の状況

- 1 沿革……………28
- 2 施設概要……………29
- 3 利用案内……………31

I 事業の状況

1 展示事業

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により4月18日(土)～5月17日(日)、大雪の影響により令和3年1月10日(日)～11日(月・祝)の期間は臨時休館(展示は中止)した。

(1) 常設展「高岡ものがたりー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー」

〔会期〕令和2年4月1日(水)～令和3年3月31日(水) 〔307日間・通年開催〕

〔会場〕本館第1・2常設展示室、休憩室

〔趣旨・内容〕

高岡の歴史、祭礼などの民俗、銅器・漆器などの伝統産業について、分かりやすい紹介に努めている。「民具コーナー」のほか、「お宝コーナー」では時宜に合わせて展示替えを行うなど、絶え間ない発信に努め、展示の充実を図った。

＜お宝コーナー＞

①「博物館の開館と高岡ー昭和40年代の収蔵資料ー」(4月4日～7月5日←6月7日)

②「林忠正三兄弟宛の西園寺公望書簡」(7月11日～9月13日)

③「まだまだあります！高岡のお宝」(9月19日～11月22日)

④「堀川敬周筆、二つの《漁樵図屏風》」(11月28日～令和3年1月31日)

⑤「またまた発見！渋沢栄一書簡」(令和3年2月13日～次年度4月11日)

〔展示資料リスト〕(平成19年度年報に掲載)

(2) 館蔵品展「昔の道具とくらし」

〔会期〕令和2年4月1日(水)～7月12日(日) 〔62日間〕

〔会場〕新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

当館が収蔵する衣・食・住をはじめとした古い生活道具類「民具」に焦点をあて、それぞれの民具がもつ歴史や用途に加え、その時代を生きた人々の暮らしについて展示・紹介した。小学校3年の授業単位にも対応した(令和2年2月1日より、年度をまたいで開催したもの)。

〔展示資料リスト・ポスター・チラシ画像、展示風景〕(令和元年度年報に掲載)

(3) 高岡市立博物館開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」

〔会期〕令和2年8月1日(土)～10月11日(日) 〔62日間〕

〔会場〕新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

当館は昭和45年(1970)6月1日に開館し、令和2年(2020)は開館50周年にあたる。当館では日ごろから高岡の歴史・民俗・伝統産業等に関わるさまざまな資料を収集し、適切に保存・管理、調査・整理している。本展では、現高岡市上伏間江出身で揚水車の研究をした江戸期の算学者・筏井満好(?～1835)の設計史料『自然登水車』(本県初公開資料)をはじめ、「清都家測量器具等関係資料」(江戸期／本県指定文化財)、白銀町母衣武者道具(寄託資料)など、当館がこれまで収蔵してきた資料のうち厳選した高岡の「お宝」を展示・紹介した。

〔印刷物〕

- ・ポスター（B2版、片面4色刷、400枚）
- ・チラシ（A4版、表4色刷・裏1色刷、6,000枚）
- ・パンフレット（A4版、4色刷、総頁数12、1,000部）

〔展示資料〕計143件441点

〔展示資料リスト〕（当館HPに掲載）



チラシ・ポスター



パンフレット



展示風景

（4）館蔵品展「高岡ゆかりの屏風」

〔会期〕令和2年11月21日（土）～令和3年1月11日（月・祝）〔38日間〕

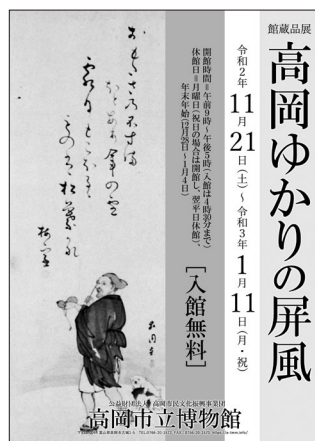
〔会場〕新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

当館では、長く後世に高岡の歴史文化を伝えるために、日ごろより郷土高岡の歴史・民俗・伝統産業等にかかわる資料を収集し、適切に保存・管理、調査・整理している。本展では、高岡初の町絵師・堀川敬周（1789頃～1858）が描く《牡丹に孔雀図屏風》等2件の新発見資料をはじめ、未公開資料を含めた当館収蔵の高岡ゆかりの屏風を展示・紹介した。

〔展示資料〕計9件17点

〔展示資料リスト〕（当館HPに掲載）



チラシ・ポスター



展示風景

(5) 館蔵品展「昔の道具とくらし」

〔会期〕令和3年2月6日(土)～3月31日(水) [46日間]

〔会場〕新館第1企画展示室

〔趣旨・内容〕

本展では、当館が収蔵する衣・食・住をはじめとした古い生活道具類「民具」を展示・紹介した。特集展示コーナーでは、近年収蔵された初公開の古い消火器や火消装束等の消防関係資料を展示した。小学校3年の授業单元にも対応した。

〔展示資料〕計61件72点

〔展示資料リスト〕(当館HPに掲載)



チラシ・ポスター



展示風景

2 教育・普及事業

(1) 郷土学習講座(全3講)

郷土の歴史・文化など幅広い分野について紹介し、理解を深めていただく連続講座を開催した。

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、第3講(当初第1講予定)は日程を延期して開催。全3講とも感染予防対策のため定員を30名に設定して(当初50名)開催。2講・3講は事前申込制とした。

〔第1講〕「古文書で読む曳山祭ー放生津・高岡」

日 時 令和2年8月29日(土) 午後2時～3時30分

会 場 新館3階講堂(以下同)

講 師 松山 充宏 氏〔射水市新湊博物館 主査(学芸員)〕

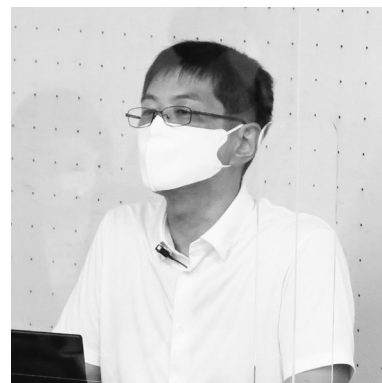
聴講者 30人

要 旨 安永4年(1775)に起きた曳山祭礼を巡る紛議「安永の曳山騒動(御車山騒動)」について、放生津町年寄柴屋の文書から放生津側の対応を紹介した。

安永2年、放生津中町曳山車輪の修理を高岡町大工が請け負った。この車輪を見た高岡の御車山関係者が「藩主ゆかりの高岡の曳山に似せた車輪」と主張して一時差し押さえる事件が起きた。同4年、高岡側に配慮した加賀藩は、放生津の曳山について、従来使用している車輪に板を打ち付けて曳くことを命じた。同年9月に行われた放生津曳山で、放生津町役人と高岡から来た人々が争い、高岡側4人が捕縛された。高岡側は同町奉行所と金沢の藩庁を相手に、捕縛された町人の釈放交渉を進めていったとされる。同年末、魚津郡代役所へ放生津町役人ら9人が召喚された。放生津側は別の町役人ほか2名が魚津に滞在し、郡代役所からの資料提出要求を始めとする現地対応を行った。放生津側の交渉窓口はあくまで魚津郡代であった。放生津側の1名は1ヶ月以上入牢を強いられたが、他の人々は事情聴取後解放された。一方、高岡側は捕縛された1名が牢内で死去、放生津と同様に魚津へ召喚された城端曳山の関係者1名も牢内で発病し、帰郷直後に死去している。安永5年2月、放生津の曳山車輪は再検査され、装飾がある7町の板車と金輪をはめた1町の土車が没収された。

事件後、放生津の曳山は明治維新まで地車を用いることとなり、維新後は輻車へと切り替えられていった。また放生津は車輪を除く部分の装飾や大規模化を図り、その形状は放生津と同じ港町である伏木・氷見・海老江・四方の祭礼へと受容された。こうして、平野部に広がった高岡御車山の形状や祭礼文化と、放生津曳山の形状や祭礼文化はそれぞれ別個の文化圏を構成し、現在に至っている。

なお本講演後の令和3年3月11日、「放生津八幡宮祭の曳山・築山行事」は国重要無形民俗文化財に指定されたことを申し添える。



松山充宏氏

〔第2講〕「江戸後期、高岡の文人たち」

日 時 令和2年9月12日(土) 午後2時～3時30分

講 師 磯部 祐子 氏(富山大学理事・副学長)

聴講者 28人

要 旨 江戸後期の高岡には、寺崎^{れいしゅう}蛸洲(1761～1822/漢詩人・俳人)や、その弟子の長崎^{こうさい}浩斎(1799～1864/蘭方医、林忠正の祖父)など、漢詩・漢文などの文芸全般に優れた文人がいた。

蛸洲は、漢文小説『蛸洲^{よじゅう}餘珠』(1819年/浩斎序)や漢文



磯部祐子氏

笑話集『^{へんたん}困譚』(1824年／浩斎序)などを出版しており、その漢文の素養の高さがうかがえる。なかには、海外や外国人の説話〔ロードス島の巨像を見た少年、長崎の妖術使いの胡僧(パテレン)の話〕なども収録されており、一方で、俳諧書『狐の茶袋』初編(1816年／浩斎題)も出版するなど、その関心の幅広さがうかがえる。

蘭方医の浩斎は、高岡で^{しぶつ}蛸洲や^{べいあん}高峰幸庵(讓吉の3代前)、江戸で^{おおつきげんたく}大槻玄沢(1757～1827)、大窪詩仏(1767～1837)、市河米庵(1779～1858)、杉田^{りゅうけい}立卿(1786～1845)らに学び、幅広く深い知識を身につけた。特に蛸洲から大きな影響を受けた浩斎は、優れた漢詩人となるのみならず、『^{せんじもん}千字文』と『^{もうぎゅう}蒙求』(共に漢文初学者向けの教科書)の日本一のコレクターとしても名を上げた。

また浩斎は、師の大槻玄沢と盛んに文通し、その中で「玄沢」の通称の由来を問合せているが、通説では「(杉田)玄白、前野良沢について蘭学を学び、両氏の名前を一字ずつもらって玄沢と通称した。」といわれる(『ブリタニカ国際大百科事典 小項目辞典』等)が、実は「玄沢は父の若い時の名であり、玄白先生と相談して自分もそう改名した」とはっきりと玄沢自らが書状で書いていることも紹介した。

最後に、高い水準をもっていた江戸後期の高岡では、江戸・京阪をはじめ海外の新しい文化にも敏感だが、一方的な模倣ではなく、批判精神もあった。豊かな財政に支えられた自由な精神、進取の気性を持っており、高岡の町の気風を感じることができると締めくくった。

〔第3講〕「前田利長の手紙を読んでみる」

日時 令和2年11月14日(土) 午後2時～3時30分

講師 鈴木 景二 氏(富山大学人文学部教授)

聴講者 30人

要 旨 前田利長の文書は、利長の^{ゆうひつ}右筆(書記役)書きのものもあるが、自筆とみられるかな書きの書状を多数発給し、それが現在までに多く残されていることが挙げられる。公的な書状ではない、かな書状には身近なことが書かれていることが多く、人柄などについて知る手がかりになる。また書状には年を記さないのが原則で、さらに日付を省略するものも多く、歴史研究の史料として活用する場合には検討が必要であり、内容も当事者同士で分かればよいので簡略(書状を持っていく使者による口頭伝達が前提)、書体も自由のため書く人物により個性があらわれることなども特徴である。

本講座テキストに使用した前田利長書状は、加賀八家のうちの村井家に伝わったものである。利長の父利家に仕えた村井長頼の子長次は、利家の娘・千世(春香院)を妻とし、千世はまつ(芳春院)を母とし、利長の同母妹である。まつは千世と仲が良く、利長や異母弟利常からも手紙が送られていた。これらの手紙が村井家に残され、後に前田家編纂方が作成した写本『村井文書』5冊(金沢市立玉川図書館近世史料館所蔵加越能文庫)に、芳春院、利長、利常から千世宛の書状が収録された。平成22年(2010)、その一部とみられる古文書が富山の郷土史家・木倉豊信氏遺品として射水市新湊博物館に寄贈された(芳春院45通・利長6通・利常8通)。

講座では上記6通の前田利長書状(千世宛)のうち2通を取り上げ、書状の写真から崩し字を一文字一文字たどって解読した。書状の紙質・墨色からは利長を含めた加賀藩主が用いた用紙の実態がわかり、形態からは自筆のかな書状であることや同母の妹への気安さが、筆跡からは人柄のほか、利長の病状や心情などがうかがえるものであった。

最後に、古文書、特にな書状は解読が難しいが、前田利長書状には身近な内容を自筆で書いてあるものがあり、今後も新史料が発見される可能性があるとした。



鈴木景二氏

(2) 開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」講演会(全1回)

⇒新型コロナウイルス感染症予防対策のため、定員を減らして(当初50名→30名)開催した。

演 題 「博物館資料にみる高岡の歴史」

日 時 令和2年8月8日(土) 午後2時～3時30分

講 師 当館・仁ヶ竹副主幹学芸員

聴講者 30人



開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」
講演会

(3) 展示説明会

① 特別展 展示説明会(全3回)

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、第1回は中止。第2回・第3回は感染予防対策のため定員を減らして、事前申込制で開催した。

【中止】〔第1回〕

日 時 8月1日(土)―

〔第2回〕

日 時 9月5日(土)

参加者 9人

〔第3回〕

日 時 10月3日(土)

参加者 17人



開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」
展示説明会

② 館蔵品展 展示説明会(全3回。うち2回は前年度に実施)

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、第3回は中止した。

【中止】〔第3回〕

日 時 4月25日(土)―

(4) 古文書講座「初めての古文書教室」(全6講)

当館では、高岡に関する古文書を多数収集・保管している。高岡の歴史や古文書に関する市民への理解を深めるため、実施した。全6講の連続講座。受講者累計81人。

⇒新型コロナウイルス感染予防対策のため定員を減らして(当初60→30名)開催した。

〔第1講〕

日 時 9月10日(木) 午後2時～3時30分(以下同)

会 場 新館3階講堂(以下同)

講 師 当館・仁ヶ竹副主幹学芸員（以下同）

受講者 14人

〔第2講〕

日 時 9月24日（木）

受講者 14人

〔第3講〕

日 時 10月8日（木）

受講者 11人

〔第4講〕

日 時 10月22日（木）

受講者 14人

〔第5講〕

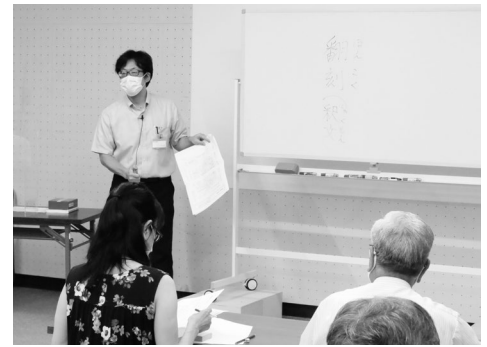
日 時 11月5日（木）

受講者 14人

〔第6講〕

日 時 11月19日（木）

受講者 14人



古文書講座「初めての古文書教室」

（5）ワークショップ等

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、屋上開放「古城公園展望台」及び呈茶の会（春・秋）は中止した。

○【中止】「呈茶の会－博物館の松聲庵で抹茶を楽しみませんか－」（春）

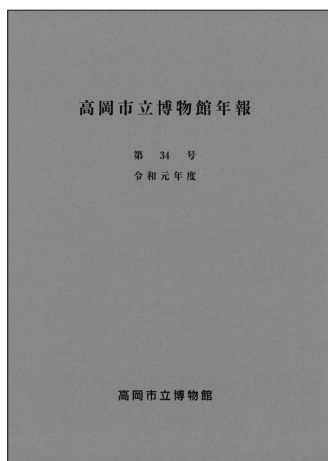
・日 時 令和2年4月11日（土）——午前10時～午後3時

○【中止】「呈茶の会－博物館の松聲庵で抹茶を楽しみませんか－」（秋）

・日 時 令和2年11月7日（土）——午前10時～午後3時

(6) 刊行物の発行

- ・高岡市立博物館開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」パンフレット（A4判、12頁、1,000部）
- ・機関誌『博物館だより』第27号（A4判、4頁、3,000部）
- ・年報『高岡市立博物館年報』第34号（令和元年度）（A4判、39頁、200部）



『高岡市立博物館年報』第34号



「博物館だより」第27号

(7) 団体見学、展示解説対応

団体見学 計34件（計1,201人）、うち展示解説8回

〔団体一覧〕

月日	団体名	人数	展示解説
4月3日	高岡市役所人事課職員研修	32人	1回
7月2日	富山県立高岡商業高等学校3年生	20人	1回
8月23日	ボーイスカウト高岡第10団ビーバー隊	21人	1回
27日	穴吹ツアー	18人	
9月25日	高岡市立西条小学校5～6年生	90人	
29日	黒部市立清明中学校1～2年生	25人	
30日	富山市立月岡中学校1年生	10人	
	射水市立新湊中学校	6人	
10月1日	富山県立高岡商業高等学校	11人	
2日	高岡市立博労小学校6年生	49人	1回
8日	射水市立新湊中学校1年生	6人	
9日	高岡市立野村小学校5年生	100人	
	高岡市立万葉小学校3年生	47人	
16日	富山市立和合中学校	31人	
	高岡市立千鳥丘小学校	59人	
24日	石川・富山城めぐりツアー	15人	
27日	富山市立蛭川小学校	107人	

月日	団体名	人数	展示解説
10月28日	富山市立三成中学校2年生	8人	1回
	黒部市立石田小学校	86人	
30日	高岡市立野村小学校	127人	
11月6日	高岡市立太田小学校	18人	
	富山市立速星小学校	39人	
11日	クラブツーリズム	18人	
	高岡市立木津小学校	15人	
13日	高岡市立木津小学校	33人	
	クラブツーリズム	18人	
14日	阪急交通社	29人	
15日	阪急交通社	23人	
20日	年金組合高岡	15人	1回
	阪急交通社	32人	
27日	高岡市立万葉小学校	116人	
2月19日	富山大学芸術文化学部	4人	1回
3月2日	高岡市立平米小学校	21人	1回
16日	高岡市立成美小学校	40人	
	計34件	1,201人	8回

(8) 他団体への協力

① 講師の派遣 計10件

〔講師派遣一覧〕

月日	依頼者 会合名	演題・内容	講師
9月8日、22日、 10月11日	全国城下町シンポジウム高岡大会実行委員会(3件) 第39回全国城下町シンポジウム高岡大会(オンライン開催)	記念フォーラム・分科会講師、高岡城跡のガイド等	仁ヶ竹副主幹学芸員
10月19日	富山県生涯学習カレッジ 高岡地区センター ふるさと探求講座(専門)「ふるさとの歴史・人・文化」	「古文書にみる伏木の北前船主堀田家・八坂家」	仁ヶ竹副主幹学芸員
10月23日、24日	氷見市観光協会 浅野総一郎と高峰譲吉ゆかりの地を巡る日帰りモニターツアー	再現展示「松楓の間」(高岡商工ビル内)、たかしん高峰記念館のガイド	仁ヶ竹副主幹学芸員
12月2日、23日	(公財)高岡市民文化振興事業団(2件) 令和2年度高岡市生涯学習センター講座『歴史都市・日本遺産「高岡」の魅力』	・『国指定史跡「高岡城」の魅力』 ・『日本遺産・北前船寄港地「伏木」』	仁ヶ竹副主幹学芸員
令和3年1月22日、 2月5日、19日、3月5日	高岡市福岡歴史民俗資料館 古文書講座	古文書講座の講師	仁ヶ竹副主幹学芸員
令和3年3月19日	高岡ライオンズクラブ 例会	「高峰譲吉の偉業」	仁ヶ竹副主幹学芸員
令和3年3月27日	次世代通信技術を活用した御旅屋賑わい創出実行委員会 高岡御旅屋VR映像、及びARアプリ「ストリートミュージアム」完成記念イベント	パネルディスカッションのパネラー(テーマ:「高岡御旅屋」など高岡の歴史)	仁ヶ竹副主幹学芸員

② 委員の派遣 計6件（うち会合16回）

〔富山県公文書館〕令和2・3年度富山県公文書館古文書調査員（平成18年度より継続。仁ヶ竹副主幹学芸員／令和3年2月25日）

〔とやま呉西園域連携推進協議会〕新規連携事業「歴史文化の学び交流事業」連携事業検討会委員（仁ヶ竹副主幹学芸員／6月24日）

〔国立大学法人富山大学〕近代金工史、金工技術史関連資料（310点）寄付受入にかかる資料評価委員（山本総括主査／書面評価）

〔高岡市商業雇用課〕「次世代通信技術を活用した御旅屋賑わい創出協議会実行委員会」アドバイザー（仁ヶ竹副主幹学芸員／①9月23日 ②10月5日 ③10月20日 ④10月30日 ⑤11月10日 ⑥11月11日 ⑦11月19日 ⑧12月17日 ⑨12月22日 ⑩令和3年1月26日 ⑪令和3年2月4日 ⑫令和3年2月12日 ⑬令和3年2月18日）

〔富山県水墨美術館〕収蔵美術品評価委員（山本総括主査）

〔富山市郷土博物館〕協議会委員（山本総括主査／令和3年2月25日）

③ 出演 計11件

〔株）チューリップテレビ〕ニュース『N6』シリーズ企画「学芸員の薦め」資料提供・出演（7月1日、7日、17日／仁ヶ竹副主幹学芸員・宇川主任学芸員・伊東学芸員補）

〔高岡ケーブルネットワーク（株）／3件〕番組『歴史都市 高岡ふしぎ帖』資料提供・出演〔「シーズン15・大千保川を探せ編」（第1話：7月6日～19日）、「シーズン16・世界人 高峰譲吉編」（第1話・第3話：11月9日～12月31日）、「シーズン17・世界人 林忠正編」（第1～4話：令和3年2月8日～4月4日）／仁ヶ竹副主幹学芸員〕

〔高岡ケーブルネットワーク（株）〕高岡市行政情報番組『もっと！ホット！高岡』出演〔①開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」（8月24日～30日）②館蔵品展「高岡ゆかりの屏風」（12月21日～27日）③館蔵品展「昔の道具とくらし」（3月1日～7日）／宇川主任学芸員〕

〔北日本放送（株）〕ラジオ番組『でるラジ』「先生！勉強になります」出演〔開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」展示紹介（8月27日）／宇川主任学芸員〕

〔全国城下町シンポジウム高岡大会実行委員会／3件〕第39回全国城下町シンポジウム高岡大会開催にともなうPR動画（YouTube）出演（10月1日、2日公開／仁ヶ竹副主幹学芸員・宇川主任学芸員・増田学芸員補）、分科会での解説（10月11日／仁ヶ竹副主幹学芸員）、資料・情報提供〔NHK Eテレ〕番組『先人たちの底力 知恵泉』「生きるにはコメを数えろ！」資料提供・出演（11月10日／仁ヶ竹副主幹学芸員）

〔NHK富山放送局〕『ニュース富山人』「富山で育まれた伝統工芸／高岡銅器」資料提供・出演（12月9日／仁ヶ竹副主幹学芸員）

④ 寄稿 計1件

「高岡御車山祭の御車山行事」〔『山・鉾・屋台の祭り研究辞典』（思文閣出版、令和3年3月30日発行）／仁ヶ竹副主幹学芸員〕

⑤ 監修・制作協力等 計5件

監修〔高岡市日本遺産推進協議会〕国史跡高岡城跡多言語解説リーフレット整備事業（7月～）／仁ヶ竹副主幹学芸員（以下同）

制作協力〔高岡ケーブルネットワーク（株）〕番組『歴史都市高岡ふしぎ帖』シーズン15～17（7～12月）

監修〔全国城下町シンポジウム高岡大会実行委員会〕第39回全国城下町シンポジウム高岡大会（10月）

制作協力「富山県映像センター」郷土学習教材DVD「新時代を拓く～藤井能三の近代遠望～」資料提供・協力（11月）

監修・制作協力「次世代通信技術を活用した御旅屋賑わい創出協議会」高岡御旅屋VR映像、及びARアプリ「ストリートミュージアム」作成にかかる資料提供・助言・執筆等

⑥ 博物館実習生の受け入れ

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当館での実習は中止し、レポート課題の提出とした。

・実習生 3人（お茶の水女子大学、京都美術工芸大学、金沢学院大学）

・課題 ①「高岡市立博物館の良い点と悪い点について」

②「博物館収蔵資料を用いたミニ展示案」

⑦ 資料貸出 計7件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	北前船関係資料	12件23点	伏木観光推進センター	於・高岡市伏木北前船資料館【継続】
2	帳場格子、大福帳等	3件3点	土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会	於・高岡市土蔵造りのまち資料館【継続】
3	高峰譲吉関係資料（高峰譲吉博士顕彰会蔵・当館寄託）	45点	高岡市福岡歴史民俗資料館	「第33回企画展 高峰譲吉博士・松楓殿～世界の医学・薬学界に貢献した研究者の遺産～」(会期：R2.9/5～10/11)
4	高峰譲吉関係資料（高峰譲吉博士顕彰会蔵・当館寄託）	11点	高峰譲吉博士顕彰会	高峰譲吉博士移動資料展（R2.10/12.13：高岡市立西条小学校、10/14：高岡市立戸出中学校）
5	蠟型鋳造制作用具（須賀月真工房）	1件3点	富山大学学術研究科芸術文化学系教授 三船温尚	泉屋博古館特別展「鋳物・モダン―花を彩る銅のうつわ―」展（会期：R3.3/13～5/15）図録掲載
6	高峰譲吉関係資料（高峰譲吉博士顕彰会蔵・当館寄託）	56点	(株)アキデザイン（高岡商工会議所）	「松楓殿 高峰譲吉博士所蔵品特別展示会」展（会期：12/10～20）
7	蠟型鋳造制作用具（須賀月真工房）	1件3点	泉屋博古館・富山大学芸術文化学部	泉屋博古館特別展「鋳物・モダン―花を彩る銅のうつわ―」展（会期：R3.3/13～5/16）

⑧ 写真提供 計47件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	林忠正著『高岡銅工ニ答フル書』（明治19年）	1点	(株)フィフス・ディメンション（エプタ編集室）	雑誌『エプタ』96号（ヒノキ新葉(株)、R2.6/25発行）
2	高岡城古写真	4点	(株)リゲル社	『幕末明治の日本の城』（R2.5/29発行）
3	「大日本職業別明細図之内富山県高岡市・伏木町・新港町・氷見町」等、地図3点の「市立回生病院」部分	3点	北日本新聞サービスセンター高岡本社	『まいたうんTAKAOKA（6月号）』『たかおか歴史探訪 No.132』（R2.6/21発行）
4	伏木港、藤井能三関係資料	21点	富山県民生涯学習カレッジ	郷土学習教材DVD「新時代を拓く～藤井能三の近代遠望～」(富山県教育委員会、R2.11月発行)
5	「漁師弁当」	1点	中京テレビ放送(株)	番組『ボイメン ジャパネスク』（R2.7/3放送）
6	「高岡大佛御面像竣工記念鋳造員」	1点	(株)北日本新聞社	紙面掲載[特集「西部ふしぎ散歩／高岡大仏」](R2.6/27付)
7	「蠟型鋳造用具(須賀月真工房)」より金型資料	25点	(株)北日本新聞社	紙面掲載(寄贈記事／R2.7/2付)
8	小竹藪遺跡出土「石鍾」、千保川大橋(横田橋)棟札(1815年)等	18点	高岡ケーブルネットワーク(株)	『歴史都市 高岡ふしぎ帖』[シーズン15「大千保川を探せ編」](R2.7/6～8/30放送)
9	堀田家文書のうち「建物取壊につき登記抹消申請書」等	5点	個人	堀田家関連の調査研究
10	高岡市立博物館常設展ガイドブック「高岡ものがたり」展示パネルデータ	11点	富山県立高岡商業高等学校	富山県立高岡商業高等学校文化発表会(R2.10/29開催)

11	高岡市立博物館外観	1点	相互企画印刷(株)	「まっとっちゃ高岡！魅力発見スタンプラリー」の現地掲示用パネル
12	料理旅館「延対寺」絵葉書	6点	(株)北日本新聞社	紙面掲載[「桜木町に桐木町…なぜ木の名前？」(R2.9/23付)]
13	堀田家文書のうち、北陸吟行『越路の波』と赤穂事件についての書写	1件2点	個人	調査研究
14	「開業当時の伏木駅」(1901年頃)、「伏木駅」(1935年頃)等	14点	個人	(株)エリエイ刊『レイル No.117』寄稿記事(R3.1/21発行)
15	「漁師弁当」	1点	(一社)Plenus 米食文化研究所	ウェブサイト「Plenus 米食文化研究所」内の「弁当ライブラリー／お弁当コラム／仕事を支えてきたお弁当」ページ(R2.9/30公開)
16	高岡鋳物製品(鍋釜、農具、仏具、銅像、梵鐘等)、前田利長肖像等	15件16点	(株)ネクサス	テレビ東京「開運！なんでも鑑定団」(R2.9/8放送)
17	「蠟型鋳造制作用具」(須賀月真工房)	11点	富山大学学術研究科芸術文化学系教授 三船温尚	泉屋博古館 特別展「鋳物・モダン一花を彩る銅のうつわ」展(会期：R3.3/13～5/16)図録
18	五十嵐篤好肖像	1点	テレビマンユニオン	NHK Eテレ『先人たちの底力 知恵泉』[「生きるにはコメを数えろ！」(R2.11/10放送)]
19	「機械化された鋳物工場」(大正3年)	1点	日本テレビ『女神のマルシェ』	日本テレビ『女神のマルシェ』[高岡鋳物についての紹介／R2.9/11放送]
20	「初代高岡駅」(明治後期)等	48件49点	全国城下町シンポジウム高岡大会実行委員会	「第39回全国城下町シンポジウム」分科会でのエンディングムービー (R2.10/11公開)
21	「前田利長在城当時の高岡城と城下町の鳥瞰推定図」(古岡英明氏原案・市山雅利氏作画)、高岡公園絵葉書等	2件63点	高岡市教育委員会	国指定史跡高岡城跡多言語化リーフレット(R3年度末発行)
22	「前田利長在城当時の高岡城と城下町の鳥瞰推定図」(古岡英明氏原案・市山雅利氏作画)等	17件20点	全国城下町シンポジウム高岡大会実行委員会	「第39回全国城下町シンポジウム」分科会の映像(R2.10/11公開)
23	「帆船と蒸気船」(大正13年)	1点	(株)ROLE	日本橋富山館『富山ペーパー』(10月号)[高岡特集記事(R2.10/1発行)]
24	「高岡片原横町絵図」(1728年)等、高岡御旅屋関連資料	14件84点	高岡市産業振興部商業雇用課	高岡御旅屋VR映像
25	高岡町絵図(明治前期)	1点	福島大学准教授 荒木田岳	自著『村の日本近代史』(筑摩書房、R2.11/5発行)
26	武波勝平撮影写真のうち「神馬像」等	3件11点	高岡ケーブルネットワーク(株)	「TOYAMA再発見！気になる富山のソレナケンケ!」(R3.1.1放送)
27	高峰譲吉肖像(高峰譲吉博士顕彰会蔵・当館寄託)等関連資料	14件52点	高岡ケーブルネットワーク(株)	『歴史都市 高岡ふしぎ帖』[シーズン16「世界人 高峰譲吉編」(R2.11/9～12/31放送)]
28	「もんぺ」	1点	明治図書出版(株)	中学生向け学習教材『国語の学習』(明治図書出版(株)、R3.4月発行)
29	「伏木小学校」、「戸出工業団地」、「高岡市役所」等	5件14点	高岡市立野村小学校	『きょう土のすがた(2021年度版)』(R3.3/31発行)
30	絵葉書「(高岡名勝)古城公園の景」(昭和6年～昭和戦中)」等	3点	北陸中日新聞	紙面掲載(特集「とやま写真館」)(R2.12/6付)
31	写真「千保川大洪水(中島町)」(明治29年)等、明治～昭和期の千保川、高岡市関連の写真、絵図・地図	14点	個人	修士論文
32	「二番町納税係規約附名簿」	1件9点	個人	二番町の歴史を語る「いきいきサロン老人クラブ」講座資料(R2.12.8)
33	「北海道物産会所用達申付状(藤井・車屋・鶴屋宛／1871年)」等	4点	高岡市都市計画課	高岡市伏木地区における観光地の魅力発信動画(R3.1月公開)
34	高岡市立博物館外観	1点	(株)北日本新聞社	紙面掲載[高岡の歴史ある建物についての特集記事(R3.1/1付)]
35	「機械化された鋳物工場」(大正3年)等	4点	NHK富山放送局	NHK「ニュース富山人」[「富山の宝スペシャル／富山で育まれた伝統工芸・高岡銅器」(R2.12/9放送)]

36	「坂下町から大仏を望む」(1955～64年頃)等、高岡大仏関連資料	8点	北陸工芸プラットフォーム実行委員会	ウェブサイト及びYouTubeチャンネル「GO FOR KOGEI 北陸で出会う、工芸の可能性」(R3.2月下旬公開)
37	「高岡繁昌双六」(郵便局部分)	1点	北日本新聞サービスセンター高岡本社	「まいたうんTAKAOKA」(1月号)「たかおか歴史探訪 No.139」(R3.1/17発行)
38	「高岡駅前」(昭和35年)	1点	北日本新聞サービスセンター高岡本社	GO TOくるんイベント「ディスカバー高岡」での展示「写真展、ふたたびー昔の高岡駅地下街と高岡ステーションデパートと高岡駅ー」(会期:R3.2/6～3/15)
39	逸見文九郎肖像、五十嵐篤好肖像等	25点	高岡ケーブルネットワーク(株)	『歴史都市高岡ふしぎ帖』(「シーズン17」世界人・林忠正編(R3.2/8～4/4放送))
40	「高岡繁昌双六」(筏井甚吉市長と市役所部分)	1点	北日本新聞サービスセンター高岡本社	「まいたうんTAKAOKA」(2月号)「たかおか歴史探訪 No.140」(R3.2/21発行)
41	「帆船と蒸気船」(大正13年)	1点	富山県教育委員会県立学校課	高校生郷土史・日本史補助教材(R3.3/31発行)
42	「後藤分銅」	1点	(株)ユーメディア	仙南信用金庫『創立70周年記念誌』(R3.5月発行)
43	「高岡市を中心とする名所鳥瞰図」(昭和11年/配水塔部分)	4点	高岡市教育委員会生涯学習・文化財課	『近代遺跡調査報告書-社会の分野-』(R3.3月発行)
44	絵葉書「高岡延対寺玄関口」	1点	北日本新聞サービスセンター高岡本社	「まいたうんTAKAOKA」(3月号)「たかおか歴史探訪 No.141」(R3.3/21発行)
45	「機械化された鋳物工場」(大正3年)	1点	読売新聞北陸支社高岡支局	紙面掲載「読売新聞富山・石川県版(R3.3/30付)」
46	「前田利家桶狭間凱旋図」	1点	(株)共同テレビジョン	NHKBSプレミアム「ザ・穴場ツアー」(R3.3/25放送)
47	高岡市立博物館外観、内観写真等	13点	LOVE高岡事務局	高岡PR動画(高岡市の日本遺産、守山城跡を含む二上万葉ライン、ドラえもんの町・高岡等の紹介)

⑨ 資料撮影・掲載 計19件

No.	資料名	点数	申請者	使用目的
1	(慶長14～16年カ) 5月30日付前田利長書状、富山土人形、安川乾清作《鍛鉄地竹虎文金銀象嵌鍔》	3件	(株)チューリップテレビ	ニュース番組「N6」シリーズ企画「学芸員の薦め」(R2.7/1、7/7、7/17放送)
2	西園寺公望書簡(林忠正三兄弟宛)	1点	早稲田大学非常勤講師 高頭麻子	木々康子氏との共著『林忠正の軌跡(仮)』執筆
3	西園寺公望書簡(林忠正三兄弟宛)	1点	富山テレビ放送(株)	高頭麻子氏(林忠正の曾孫)が調査・来館した際の映像
4	堀田家文書のうち「地所売渡証書」等	23点	個人	堀田家調査
5	砺波郡下麻生村文書のうち「下麻生村及び上麻生村人名書上」等	3点	個人	近代の下麻生村の態様調査
6	高岡旧旅屋門前等絵図	1件3点	個人	調査
7	蠟型鑄造制作用具(須賀月真工房)	100点	泉屋博古館・富山大学芸術文化学部教授 三船温尚	泉屋博古館 特別展「鑄物・モダンー花を彩る銅のうつわー」展(会期:R3.3/13～5/15)の展示準備
8	堀田家文書のうち「碇・筋縄・大工等代金書上綴」等	2点	個人	調査研究
9	「越中国射水郡高岡町全図」等	7点	個人	『室生犀星研究』(第42輯)掲載論文の執筆
10	尾崎家資料	1件100点	「俳諧百一集」を読む会	当会の勉強会
11	本保桂泉愛用彫金用具類	1件100点	個人	調査研究
12	石釧(桜谷古墳出土品)	5点	個人	北日本新聞紙面掲載「「ぶんぶんジュニア」桜谷古墳」(R2.8/29付)
13	強盗式磁石台、軸心磁石盤、匂配板等	6点	テレビマンユニオン	NHK Eテレ『先人たちの底力 知恵泉』(「生きるにはコメを数えろ!」(R2.11/10放送))

14	鉄瓶用鋳型等	32点	奈良文化財研究所 主任 研究員・丹羽崇史	科学研究費補助事業「土製鋳型を中心とした冶金関連資料による東アジア冶金史学の構築」に伴う調査研究
15	常設展体験コーナー「利長兜」(慶長14～16年) 5月30日付前田利長書状	2点	全国城下町シンポジウム高岡大会実行委員会	「第39回城下町シンポジウム高岡大会」に向けての当館見どころ紹介動画作成(R2.10/11 公開)
16	天正13年11月28日付北条氏規宛徳川家康書状	1点	(公財)馬事文化財団参与 長塚孝	神奈川県ゆかりの武将に関する古文書確認調査
17	銀カップ(高峰譲吉博士顕彰会蔵・当館寄託)	1点	高岡ケーブルネットワーク(株)	『歴史都市 高岡ふしぎ帖』[「シーズン16」世界人・高峰譲吉編](R2.11/9～12/31 放送)]
18	鯛盆	1点	NHK富山放送局	NHK「ニュース富山人」[「富山の宝スペシャル／高岡漆器」(R3.1/20 放送)]
19	天正13年11月28日付北条氏規宛徳川家康書状	1点	個人	関東戦国史研究

⑩ その他の協力

- ・(公財)日本城郭協会「日本100名城スタンプラリー」(平成19年度～)
- ・高岡テクノドームへの博物館サテライトギャラリーの実施(平成30年10月1日～)
- ・高岡市教育委員会学校教育課「高岡再発見プログラム9」スタンプラリー(7月25日～12月14日)参加者累計775人
- ・富山新聞社「まっとっちゃ高岡! 魅力発見スタンプラリー」QRコード読み取りによるスタンプ設置(8月1日～9月30日)
- ・高岡商工会議所「藤子・F・不二雄先生ゆかりの地めぐりスタンプラリー2020」QRコード読み取りによるスタンプ設置(9月18日～11月30日)
- ・高峰譲吉博士顕彰会「高峰譲吉博士移動資料展」(10月12～13日: 高岡市立西条小学校/10月14日: 高岡市立戸出中学校)への資料提供・助言
- ・高岡商工会議所「松楓殿 - 高峰譲吉博士所蔵品特別展示会」への資料展示・助言(12月10日～20日: 御旅屋セリオ)
- ・高岡市市長政策部文化創造課「日本遺産を学ぼう」オリジナルシール配布協力(令和3年2月13日～4月7日)

(9) レファレンス

高岡の歴史・文化などに関わる照会・回答 136件

(10) インターネットによる広報・普及

- ・ホームページ 年間総アクセス数 257,046件
- ・全国の博物館・美術館収蔵資料データベース「文化遺産オンライン」(文化庁運営)への資料情報公開件数 計935件
- ・発行済の館報「博物館だより」(27件)、展示解説「博物館ノート」(10件)の公開
- ・当館公式ツイッター(ツイート11,745回、フォロワー1,452人)
- ・フェイスブック(投稿3,343回、いいね! 2,340件)による広報
- ・当館案内リーフレット〔①日本語版 ②英語版 ③中国語(簡体字)版〕の館内配架及びネット公開
- ・当館収蔵展示資料の撮影、ネットへの公開を個人利用に限り許可(平成29年2月4日～)
- ・当館が所蔵(保管)する一括資料目録のネット公開(令和元年11月～)

3 収集・保存活動

(1) 購入資料（計25件34点。受入順）

No.	資料名称	数量	分類
1	明治31年11月6日付 西園寺公望書簡（林忠正三兄弟宛）	1	歴史
2	年未詳3月26日付 洪沢栄一書簡（大橋半七郎宛）	1	歴史
3	高岡御車山絵葉書（通り町・守山町・小馬出町。昭和20年代）	3	歴史
4	高岡名勝絵葉書「射水神社」（1907～18年）	1	歴史
5	『高岡市勢要覧（昭和13年版）』（1938年）	1	歴史
6	年未詳3月5日付 前田利長・永姫侍女奉書（三ゑもん宛）	1	歴史
7	年未詳4月2日付 前田利長書状（九兵へ・左内宛）	1	歴史
8	明治14年8月5日付 塩船積証文（越中高岡平能彦三郎船）	1	歴史
9	高岡市内絵葉書（御野立所・瑞龍前田公遺徳碑・高岡関野神社。1918～32年）	3	歴史
10	絵葉書（「川原神社及沢田清兵衛翁肖像」・「系図及翁ノ遺墨」。1918～32年）	2	歴史
11	彩色絵葉書「高岡市小矢部川」（1900～07年）	1	歴史
12	絵葉書「（高岡名勝）高岡市々街ノ景」（1907～18年）	1	歴史
13	絵葉書「高岡市街及高岡市役所」（1918～32年）	1	歴史
14	絵葉書「（高岡名勝）七本杉」（1907～18年）	1	歴史
15	絵葉書「高岡商業会議所」（1907～18年）	1	歴史
16	絵葉書「越中氷見郡（西田）臨済宗大本山国泰寺山門ノ景」（1918～32年）	1	歴史
17	絵葉書「射水神社（全景／本社・神楽殿）」（1921年）	2	歴史
18	堀川敬周画、西村十丈園賛《紙本彩色松尾芭蕉像》（江戸後期／1830年以前）	1	美術
19	『ふしき（昭和11年度）』（1936年）	1	歴史
20	筏井竹の門 和歌短冊「蓮は実となり」（大正期）	1	美術
21	高岡市元町銅器商・堀井長平商店カタログ	1	歴史
22	高岡市坂下町 木勢漆器店『高岡漆器型録』	1	歴史
23	高岡市街地図（1/13,500）	1	歴史
24	深井彪著『諸国廃城考之内賀能越三州抜粹』（写本。1852年5月写）	1	歴史
25	磯野小兵衛編『学海新誌』（第1～4号。1893年）	4	歴史

(2) 寄贈資料 (計64件675点。受入順。一括資料は仮に100点と計上)

No.	資料名称	数量	分類	寄贈者
1	写真「朝陽橋より中の島を望む」(1954～68年頃)	1	歴史	西田努氏
2	掘炬燵の炉(昭和30年代以前)	2	民俗	江畑聿英氏
3	鋸各種・写真(鷺北機工具店。明治～昭和初期)	(一括)	民俗	鷺北洋子氏
4	かき氷機(タイガー製ベビーアイス。昭和50年代)	1	民俗	匿名希望
5	市内企業・商店風呂敷	4	民俗	福澤久美子氏
6	高角砲弾薬筐プレート(昭和戦中)	2	歴史	幸塚昭英氏
7	半鐘(1916年11月)	1	民俗	高岡市消防団 定塚分団第3分団
8	山岡鉄舟筆 扁額《終始一誠意》	1	美術	松谷義雄氏
9	福岡市郎鑄造・吹田正光彫金《鑄銅象嵌七福神文火鉢》(1965～75年頃)	1	民俗	福岡良子氏
10	絵葉書(高岡市内・富山県内)	27	歴史	高畑一男氏
11	高畑芳山作《菊文彫刻塗文庫》・《柿文彫刻塗文庫》(一対。1970年頃)	2	民俗	
12	砺波郡光明寺資料(明治～昭和期)	(一括)	歴史	光明寺自治会
13	堀川敬周筆《牡丹に孔雀図屏風》(6曲1隻。江戸後期)	1	美術	片岸昭二氏
14	湯たんば	1	民俗	匿名希望
15	古地図(世界・日本・富山。明治～平成期)	(一括)	歴史	室崎信一氏
16	青貝塗火鉢(株高岡米穀取引所創立五十周年記念表彰品。一対)	2	民俗	神初尚武氏
17	二代須賀松園作 蠟型鑄造賞牌《立山と雷鳥》(1977年)	1	民俗	本保澄雄氏
18	二代須賀松園作 蠟型鑄造額面《魁星》(1978年)	1	民俗	
19	藤井能三筆 和歌短冊《雨中菊》(明治後期)	1	美術	佐藤充彦氏
20	雪ばんば(明治～大正期)	1	民俗	今井昭次氏
21	「高岡市立伏木中学校々舎建築概要」(1950～52年頃)	1	歴史	匿名希望
22	正村陶所筆《羅漢図》(明治～昭和初期)	1	美術	
23	高岡市大坪町・鍛冶職 藤井家文書(明治後～昭和17年代)	(一括)	歴史	藤井喜代乃氏
24	重箱(明治～大正期頃)	5	民俗	
25	炭取り(明治期)	1	民俗	
26	乳母車(昭和29～昭和30年代)	1	民俗	
27	モンペ	2	民俗	
28	ショール	2	民俗	
29	炬燵の上掛け	1	民俗	
30	重風呂敷・紐・重布団	5	民俗	
31	タイガー製 餅つき機「力じまん」(1976年製)	1	民俗	匿名希望
32	東芝製 電気掃除機(1984年製)	1	民俗	
33	陸軍輜重兵・松郷 宏氏関係資料(戦時下資料。昭和期)	35	歴史	松郷誠一氏
34	看板「タカザスターゼ」(大正～昭和期)	1	民俗	津田俊治氏
35	ホーロー看板「タカザスターゼ」(昭和中期)	1	民俗	
36	炭取り(明治～大正期)	1	民俗	角谷登氏
37	高岡漆器 火鉢(一対。昭和期)	2	民俗	
38	米治一年賀状(早苗藤作宛。1952～60年)	5	歴史	早苗豊治氏
39	嫁のれん(宝船文。1934～35年頃)	1	民俗	
40	重掛け・中包み・重箱の座布団(1935年頃)	3	民俗	
41	米静雲筆《南瓜に蟋蟀図》	1	美術	匿名希望
42	射水郡五十里村・西家文書(明治期ほか)	9	歴史	
43	高足駄(女物。1965年頃)	1	民俗	山田館夫氏
44	国民服(上衣。1940～45年)	4	民俗	杉本義路氏
45	高岡米商会所定期米価格高低表(1892～99年)	5	歴史	匿名希望
46	電信略語表(1892年、明治後期)	2	歴史	
47	肥物卸小売営業承認書(1892年)	1	歴史	
48	高岡新報社本社株主総会決議通告書(1894年2月5日付)	1	歴史	
49	米価相場一覧表(1955年頃)	1	歴史	

No.	資料名称	数量	分類	寄贈者
50	金森佐兵衛作《鉄瓶》（江戸末～明治期）	1	美術	匿名希望
51	高岡市内商店引札（明治～昭和期）	6	民俗	
52	高岡大仏開眼式式次第（1933年5月3日）	1	歴史	
53	台秤(100kg)	1	民俗	吉田幸夫氏
54	竿秤	2	民俗	
55	絵葉書「観光の高岡」（昭和中期）	6	歴史	匿名希望
56	絵葉書帖「たかおか」（昭和中期）	6	歴史	
57	大場商店看板	1	民俗	大場洋子氏
58	呂色塗タオル掛け	1	民俗	
59	銅器製菊花紋章（横田小学校講堂奉安庫用。1938年）	1	歴史	廣谷清氏
60	銅製雲龍文打出水指（昭和初年）	1	美術	
61	安立式回転分度規	1	民俗	丹羽俊樹氏
62	皇紀二千六百年奉祝記念平米町法被（1940年）	1	民俗	佐野道子氏
63	高岡横田町・岡本家文書（江戸～昭和期）	（一括）	歴史	岡本清右衛門氏
64	生型鉄器灰皿「瑞祥」（昭和40年代）	1	民俗	四津井宏至氏

収蔵資料分類一覧表

資料別大分類			区分	件数	点数
I 歴史資料	985件	10,433点	1. 歴史資料	985件	10,433点
II 民俗資料	1,083件	7,368点	1. 衣食住	475件	3,828点
			2. 交通 運輸 通信	49件	65点
			3. 民俗芸能 娯楽 遊戯等	216件	1,721点
			4. 人生儀礼	26件	62点
			5. 交易	102件	313点
			6. 民俗知識	142件	849点
			7. 年中行事	28件	446点
			8. 社会生活	33件	60点
			9. 信仰	12件	24点
III 産業資料	463件	8,055点	生産 生業資料	463件	8,055点
IV 美術資料	556件	881点	1. 金工	86件	107点
			2. 漆芸	93件	174点
			3. 陶芸	53件	101点
			4. 木竹石工	4件	28点
			5. 染織	5件	5点
			6. 日本画	138件	160点
			7. 洋画・版画	44件	121点
			8. 彫刻	22件	23点
			9. 書	111件	162点
総 計	3,087件	26,737点		3,087件	26,737点

※平成29年度受け入れ分より、一括資料を100点として計上。

（令和3年3月末現在）

（3）保存活動

展示室・収蔵庫等の温湿度管理、裏打・軸装、桐箱作成、中性紙封筒・箱での保存、収蔵庫清掃、害虫侵入対策、二酸化炭素ガスによる資料燻蒸等

4 調査・研究活動

- (1) 収蔵資料及び未調査資料の調査整理（調査・整理・登録・撮影・データベース化等）
- (2) 収蔵資料の収集・分類・整理方針にかかる調査研究
- (3) 今後の企画展（特別展・館蔵品展等）、常設展にかかる調査研究
- (4) 国登録有形民俗文化財「高岡鋳物の製作道具及び製品」の国指定重要有形民俗文化財指定にかかる当館収蔵鋳物資料の調査
- (5) 収蔵資料情報のデジタル化による資料管理（デジタル・アーカイブの推進）
- (6) その他の調査・研究
- (7) 各種研究会・研修会、講座等への参加 計3件
 - ・〔（公財）高岡市民文化振興事業団〕救命講習会（7月30日）
 - ・〔富山県歴史資料保存利用機関連絡協議会〕令和2年度行政文書実務担当者研修会（11月19日）
 - ・〔北前船日本遺産推進協議会〕令和2年度北前船日本遺産推進協議会学芸員セミナー（オンライン開催／令和3年2月24日）

5 高岡市立博物館に親しむ会との連携

高岡市立博物館に親しむ会は、博物館の活動を支援するほか、高岡の歴史と文化に親しみ、相互に親睦を図る活動を行うことを目的に平成25年3月6日に設立されたものである。郷土高岡への理解を深め、市民に親しまれる新しい博物館づくりを進めている。

○会員数 330件（一般317件、賛助13件）

・総会・講演会

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止した。

日 時 4月17日（金）―午後1時30分―

内 容 【中止】総会―令和元年度事業報告、収支決算報告ならびに令和2年度事業計画（案）―
収支予算（案）、役員の改選など

【中止】記念講演会

演 題：『高岡と能美―ながめてみよう両市の歴史―』

講 師：鎌田康平氏（能美市歴史民俗資料館）

・広報部会（計5回）

日 時 6月19日（金）、7月3日（金）、11月12日（木）、令和3年1月27日（水）、令和3年2月25日（木）

・ワークショップ部会

日 時 令和3年1月13日（水）

・研修部会

日 時 令和3年2月25日（木）

・役員会

日 時 令和3年3月17日(水)

〔事業〕

・郷土史を訪ねて①「歩く博物館 ～1万歩ウォークでふるさと再発見～」(全2回／参加者累計29人)

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4～6月は中止し、第28回・第29回は感染症予防対策のため定員を減らして(当初40→15名)開催した。

【中止】「二上神社の祭礼を鑑る」(バス・徒歩)

日 時 4月23日(木)午後2時～

【中止】「一駅分歩いて、上水道の歴史を眺める」(電車・徒歩)

日 時 6月13日(土)——午前9時30分～

〔第28回〕「吉久を、歩いて、知る」(万葉線・徒歩)

日 時 9月16日(水) 午前10時30分～ 参加者14人

講 師 樽谷雅好氏(同会研修部会長。高岡市児童文化協会副会長。以下同)

〔第29回〕「放生津の『築山』を、知る」(バス・徒歩)

日 時 10月2日(金) 正午～ 参加者15人



第28回 歩く博物館「吉久を、歩いて、知る」



第29回 歩く博物館「放生津の『築山』を、知る」

・郷土史を訪ねて②「走る博物館 ～還暦過ぎの修学旅行～」(全2回)

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止した。

【中止】「国泰寺の足跡を、①奥飛騨に視る」(バス)

日 時 5月20日(水)——午前8時～

【中止】「瑞龍寺のルーツ - 法円寺 - を遡(たど)る ②能登宝円寺」(バス)

日 時 7月9日(木)——午前8時～

・郷土史を訪ねて③「井田川を呑む - 八尾の風情を存分に味わう」(全1回)

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「郷土史を訪ねて③」を中止し、「郷土史を訪ねて①歩く博物館」(第29回)に変更して開催した。

【中止】

日 時 10月14日(水)——午前9時～

- ・「呈茶席」（全て土曜日。全4回／参加者累計103人）

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、呈茶席（春／4回）を中止した。

日 時【春・中止】4月25日、5月9日、5月16日、5月23日

〔秋〕9月19日、9月26日、10月10日、10月17日

各日午前11時～午後3時

会 場 茶室「松聲庵」掛待合

協 力 小嵐晴美氏（同会ワークショップ部会長。古儀茶道藪内流教授）ほか



呈茶席

- ・「版画講座 - 木版画で年賀状を作ろう -」

日 時 11月10日、11月17日 各日午後1時30分～午後3時

会 場 新館3階講堂

協 力 水上悦子氏（木版画講師）

参加者 5人



版画講座



- ・「高岡古文書ボランティア」＜平成27年4月設立＞（原則第3土曜日。全8回／参加者累計61人）

⇒新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4月～7月は中止した。

日 時 【中止】4月18日、5月16日、6月20日、7月18日

（本年度通算58回～65回）8月22日、9月19日、10月17日、11月21日、12月19日、

令和3年1月16日、2月20日、3月13日 各日午後2時～午後3時30分

会 場 新館第2企画展示室



古文書ボランティア

- ・広報誌「鍛冶丸」発行
第14号（A4版、総頁数8、600部）

- ・クリアファイル作成
「前田利長書状」、「桜馬場の春色」（A4版、各500枚）

〔ボランティア活動協力〕

- ・親しむ会事業（歩く博物館2回、呈茶席4回）
受付等ボランティア のべ15人
- ・博物館事業（郷土学習講座3回）
受付・駐車場整理等ボランティア のべ12人

〔役員名簿〕

役職	氏名	所属	備考
会 長	太田 久夫	前富山県郷土史会会長	
副会長	多田 慎一	裏千家淡交会高岡支部副支部長	
	神保 成伍	元高岡市立博物館館長	企画運営委員長
	晒谷 和子	元高岡市立博物館館長	
理 事	荒俣 勝行	美術コレクター	
	大菅 洋介	高岡商工会議所青年部理事	
	岡田 有弘	岡田美術店	
	小嵐 晴美	古儀茶道藪内流教授	ワークショップ部会長
	近藤 昭美	茶道裏千家淡交会名誉師範	
	清水 静子	観光ガイドボランティアグループ「あいの風」	
	樽谷 雅好	公益財団法人 高岡市民文化振興事業団評議員	研修部会長
	西 範子	茶道裏千家淡交会教授	
	般若慎一郎	金屋町まちづくり協議会会長	広報部会長
	本保 澄雄	高岡観光ボランティアガイド「やまたちばな」	
監 事	水上 悦子	木版画講師	
	中尾 光博	高岡市中田地区教育振興会会長	
	宇波真一郎	高岡古城ライオンズクラブ	

（敬称略・五十音順。任期：平成31（令和元）～令和2年度）

Ⅱ 管理運営の状況

1 職員名簿

職 名	氏 名	任 用
館 長	廣 瀬 由美子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団嘱託職員
副主幹学芸員	仁ヶ竹 亮 介	公益財団法人高岡市民文化振興事業団職員
総 括 主 査	山 本 成 子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団嘱託職員
主任学芸員	宇 川 恵 里	公益財団法人高岡市民文化振興事業団職員
学 芸 員 補	増 田 豊	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員
学 芸 員 補	伊 東 梨 愛	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員
学 芸 員 補	坂 田 吏永子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員
学 芸 員 補	北 野 晶 子	公益財団法人高岡市民文化振興事業団契約職員

※受付員：島寿男、山田早苗、武部千代子、森朝子、林洋子（10月より）

2 歳出予算（令和2年度事業別）

（単位：千円）

	事業名	前年度	本年度	差 異
管理費	施設管理費	11,581	11,584	3
	人件費（事業団職員分のみ）	19,698	20,264	566
	小 計	31,279	31,848	569
事業費	調査研究費	1,379	368	△ 1,011
	講演講習会費	254	362	108
	資料整備保存費	4,309	4,310	1
	特別展	633	888	255
	常設展（館藏品等含む）	1,254	1,416	162
	小 計	7,829	7,344	△ 485
合 計		39,108	39,192	84

3 高岡市立博物館協議会

職 名	氏 名	任 用
学識経験者	晒 谷 和 子	元高岡市立博物館館長
	日 和 祐 樹	高岡市文化財審議会会長
	中 葉 博 文	富山県立砺波高等学校再任用教員
	広 沢 晶 子	高岡商工会議所青年部（令和2年度たかおかブランディング委員会委員長）
学 校 教 育	山 口 ひろみ	高岡市小学校長会代表（高岡市立古府小学校長）
	寺 田 恵	高岡市中学校長会代表（高岡市立国吉義務教育学校長）
	寫 田 豊	高岡地区高等学校長会代表（富山県立高岡南高等学校長）
社 会 教 育	山 口 敏 雄	伝統工芸高岡銅器振興協同組合理事長
	武蔵川 義 則	伝統工芸高岡漆器協同組合副理事長
	本 保 澄 雄	高岡観光ボランティアガイド「やまたちばな」会計
	米 澤 陽 子	地域女性ネット高岡会長代行
	端 雅 美	高岡市PTA連絡協議会副会長

〔敬称略・順不同。任期2年（令和2年2月1日～令和4年1月31日）〕

4 高岡市立博物館条例

平成17年11月1日
条 例 第206号

(設置)

第1条 博物館法(昭和26年法律第285号。以下「法」という。)に基づき、高岡市立博物館(以下「博物館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 高岡市立博物館
位置 高岡市古城1番5号

(事業)

第3条 博物館は、歴史、民俗、産業などに関する資料を収集し、保管し、及び展示して、教育的配慮のもとに一般公衆の利用に供し、その教養、調査、研究等に資するために必要な事業を行い、併せてこれらの資料に関する調査研究を行うものとする。

(博物館協議会)

第4条 法第20条第1項の規定に基づき、高岡市立博物館協議会を置く。

2 高岡市立博物館協議会は、委員12人以内をもって組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験を有する者

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

(指定管理者による管理)

第4条の2 博物館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)にこれを行わせる。

(指定管理者が行う業務)

第4条の3 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 事業の実施に関する業務
- (2) 利用の許可に関する業務
- (3) 利用に係る料金の收受及び決定に関する業務
- (4) 施設及び設備の維持管理に関する業務
- (5) 前各号に掲げるもののほか、高岡市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が必要と認める業務

(開館時間)

第4条の4 博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとし、展示室へ入室できる時間は、午後4時30分とする。ただし、指定管理者は、必要と認めるときは、教育委員会の承認を得て、これを変更することができる。

(休館日)

第4条の5 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要と認めるときは、教育委員会の承認を得て、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日以外の日)
- (2) 12月29日から翌年の1月3日までの日

(観覧料)

第5条 博物館の展示資料を観覧しようとする者が、博物館の利用に係る料金(以下「利用料金」という。)として納める観覧料は、無料とする。

2 前項の規定にかかわらず、特別展示等を行う場合の観覧料は、指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て別に定める。

3 前項の観覧料は、指定管理者に観覧の際、前納しなければならない。

(施設の利用)

第6条 博物館の施設のうち次に掲げるものを利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない

附 則(平成17年12月22日条例第272号)

(施行期日)

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、改正前の高岡市立博物館条例第6条の規定によりなされた許可は、改正後の高岡市立博物館条例第6条の規定によりなされた許可とみなす。

附 則(平成19年3月22日条例第17号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月22日条例第10号)抄

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第1条及び第5条から第12条までの規定は、平成24年4月1日から施行する。

(高岡市立博物館条例の一部改正に伴う経過措置)

5 この条例の施行の際現に第2次一括法による改正前の博物館法(昭和26年法律第285号。以下「旧博物館法」という。)第21条の規定により高岡市教育委員会が任命した高岡市立博物館協議会の委員(以下この項において「旧委員」という。)である者は、施行日に第8条の規定による改正後の高岡市立博物館条例(以下この項において「新条例」という。)第4条第3項の規定により高岡市立博物館協議会の委員として任命されたものとみなす。この場合において、その任命されたものとみなされる委員の任期は、新条例第4条第4項の規定にかかわらず、施行日における旧委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。い。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

(1) 企画展示室(展覧会等開催のため第1企画展示室、第2企画展示室及び第3企画展示室を占用して利用する場合に限る。)

(2) 茶室

(利用の制限)

第7条 指定管理者は、前条の規定により利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又は利用を停止することができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則の規定に違反したとき。
- (2) その利用が博物館の目的に適しないと認めたとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、博物館の管理上特に必要があると認めるとき。

2 前項の規定による処分をした場合において利用者に損害が生ずることがあっても、指定管理者は、その責めを負わない。

(利用権の譲渡等の禁止)

第8条 利用者は、利用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(原状回復の義務)

第9条 利用者は、博物館の施設の利用を終了したときは、直ちに原状に回復しなければならない。第7条第1項の規定により、利用の許可を取り消されたときも、同様とする。

(入館の制限)

第10条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を制限し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけるおそれがあると認められる者
- (2) 展示品又は施設、設備等を損傷するおそれがあると認められる者
- (3) 博物館の管理上必要な指示に従わない者

(施設利用料)

第11条 利用者は、利用料金として別表に掲げる額の範囲内で指定管理者があらかじめ教育委員会の承認を得て定める額の施設利用料を納めなければならない。

2 施設利用料は、利用許可の際、納入しなければならない。

(施設利用料の減免)

第12条 指定管理者は、教育委員会規則の定めるところにより、施設利用料を減額し、又は免除することができる。

(施設利用料の不還付)

第13条 既納の施設利用料は、還付しない。ただし、指定管理者は、特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を還付す

ることができる。
(利用料金の収入)
第14条 利用料金は、指定管理者の収入とする。
(損害賠償)
第15条 利用者は、建物その他付属設備、器具等を損傷し、又は滅失したときは、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事由があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。
(委任)
第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則
(施行期日)
1 この条例は、平成17年11月1日から施行する。
(経過措置)
2 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)の前日までに、合併前の高岡市立博物館条例(昭和45年高岡市条例第23号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定

5 高岡市立博物館条例施行規則

(趣旨)
第1条 この規則は、高岡市立博物館条例(平成17年高岡市条例第206号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。
(協議会の組織)
第2条 条例第4条に規定する高岡市立博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置き、委員のうちから互選により定める。
2 会長及び副会長の任期は、委員の任期による。
3 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
(会議の招集)
第3条 会議は、必要に応じ会長が招集する。
(議事)
第4条 協議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
(利用許可の申請)
第5条 条例第6条の規定により、高岡市立博物館(以下「博物館」という。)の施設の利用許可を受けようとする者は、利用許可申請書を指定管理者に提出しなければならない。
2 前項の申請書は、利用期日(利用しようとする日が引き続き2日以上であるときは、その初日)の6箇月前から2週間前までの間に提出しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
(利用の許可)
第6条 指定管理者は、博物館の施設の利用を許可したときは、利用許可書を交付するものとする。

附 則
(施行期日)
1 この規則は、平成17年11月1日から施行する。
(経過措置)
2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の高岡市立博物館に関する規則(昭和45年高岡市教育委員会規則第6号)の規定によりなされた手続その他の行為は、この規則の相当規定によりなされた手続その他の行為とみなす。

附 則(平成17年12月22日教委規則第61号)
(施行期日)

によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

附 則(平成26年3月20日条例第52号)
この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表(第11条関係)

名 称	施 設 利 用 料	
企画展示室	1日につき	9,900円
茶 室	1日につき	4,400円

備考
1 冷房又は暖房利用料は、施設利用料の2割に相当する額とする。
2 利用に際し、入場料又はこれに類するものを徴収する場合は、施設利用料の5割に相当する金額(入場料又はこれに類するものが1,000円以下の場合にあっては、3割に相当する金額)を加算する。
3 施設利用料の算定に当たって、10円未満の端数を生じたときは、当該端数は切り捨てるものとする。

平成17年11月1日
教育委員会規則第39号

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。
(経過措置)
2 この規則の施行の日の前日までに、改正前の高岡市立博物館条例施行規則の規定によりなされた手続その他の行為は、改正後の高岡市立博物館条例施行規則の規定によりなされた手続その他の行為とみなす。
(利用許可の取りやめ及び変更)
第7条 利用の許可を受けた者は、利用の取りやめ又は変更について許可を受けようとするときは、利用取りやめ(変更)申請書を指定管理者に提出しなければならない。
(施設利用料の減免)
第8条 条例第12条の規定により、施設利用料の減免を受けようとする者は、施設利用料減免申請書を指定管理者に提出しなければならない。
2 施設利用料の減免の範囲及び割合は、別表のとおりとする。ただし、指定管理者が特に必要があると認めて高岡市教育委員会の承認を得たときは、この限りでない。
3 施設利用料の減免額の算定に当たって、10円未満の端数を生じたときは、これを10円として計算する。
(施設利用料の還付)
第9条 条例第13条ただし書の規定により施設利用料を還付する場合は、次の各号に掲げる区分に応じ当該各号に定めるところによる。
(1) 条例第7条第1項第3号の規定により、指定管理者が利用許可を取り消したとき全額を還付する。
(2) 災害その他不可抗力により利用することができなくなったとき 全額を還付する。
(3) 前2号に掲げるもののほか、指定管理者が還付を必要と認めるとき8割相当額を還付する。
(補則)
第10条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

別表(第8条関係)
企画展示室、講堂及び茶室の施設利用料(冷暖房利用料は除く。)を減免する場合

利用区分	減免率
市又は教育委員会の主催する場合	100%
市又は教育委員会の共催する場合	50%

6 入館者数（「小人」は中学生以下。単位：人）

①常設展「高岡ものがたり－楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアム－」

会期：4月1日（水）～令和3年3月31日（水）（開催日数307日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
15,676	3,432	11,933	2,919	33,960

②館蔵品展「昔の道具とくらし」

会期：4月1日（水）～7月12日（日）（開催日数62日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
1,566	200	1,072	154	2,992

③高岡市立博物館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」

会期：8月1日（土）～10月11日（日）（開催日数62日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
2,842	877	2,171	751	6,641

④館蔵品展「高岡ゆかりの屏風」

会期：11月21日（土）～令和3年1月11日（月・祝）（開催日数38日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
1,132	197	860	143	2,332

⑤館蔵品展「昔の道具とくらし」

会期：令和3年2月6日（土）～3月31日（水）（開催日数46日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
1,433	197	1,157	160	2,947

総計（開催延日数 515日間）

男性		女性		合計
一般	小人	一般	小人	
15,676	3,432	11,933	2,919	33,960

過去5年間の入館者数

H27	H28	H29	H30	H31/R1
34,644	40,923	49,638	58,048	63,367

7 当館関連記事一覧

〔令和2年〕

- 4月 5日 北日本新聞「懐かしい！昭和40年代のお宝／市立博物館 50周年で収蔵資料展」
- 4月 5日 富山新聞「昭和の資料9点／高岡市立博物館」
- 4月12日 富山新聞「館内の収蔵品 SNSで紹介／高岡市立博物館」
- 4月17日 北日本新聞「市美術館など休館／市役所窓口に透明パネル」
- 4月17日 富山新聞「保育園の利用自粛要請／高岡市、来月6日まで 運営は継続」
- 4月20日 富山新聞「外出自粛、SNSで楽しく／「巣ごもり」サービス広がる／ファミリーパーク 動物の動画配信／魚津水族館 イラストを募集」
- 4月25日 北日本新聞「西部ふしぎ散歩／⑩高岡の偉人・高峰譲吉／マルチな才能を発揮／多彩な分野に足跡／今も市民の尊敬集める／顕彰イベントや新スポット」
- 5月 6日 富山新聞「きときと人／高岡市立博物館副主幹学芸員 仁ヶ竹 亮介さん(44) 高岡市中川上町／古文書から新事実」
- 5月 9日 北日本新聞「きょうもにっこり／高岡市立博物館学芸員補 坂田 吏永子さん」
- 5月19日 富山新聞「街を歩くと／高岡古城公園／城の土塁に防空壕／地盤安定の台地、強さ頼りに／戦争の記憶伝え」
- 6月 3日 富山新聞「地域ニュース／明治の史料 博物館に／戸出 光明寺自治会が提供」
- 6月 3日 北陸中日新聞「明治、戦中の資料 市立博物館に／高岡・戸出光明寺自治会が寄贈」
- 6月 3日 北日本新聞「明治の地籍図など寄贈／高岡戸出光明寺自治会 市立博物館に資料100点」
- 6月10日 読売新聞「明治から昭和 農村の記録／高岡・戸出光明寺地区／古文書100点 市立博物館に寄贈」
- 6月16日 北日本新聞「最後の元老 西園寺公望から林忠正へ 高岡出身美術商／信頼す書簡発見／市立博物館 来月公開」
- 6月16日 富山新聞「高岡出身の美術商へ元老／林忠正宛て西園寺書状／市立博物館入手「深い親交示す」／案内依頼、政局も記す」
- 6月21日 北陸中日新聞「高岡出身の美術商・林忠正／西園寺公望から親密さ示す書簡／市立博物館が入手、来月展示」
- 6月22日 富山新聞「紙風船／高岡のもう一人の偉人」
- 6月27日 北日本新聞「西部ふしぎ散歩／⑫高岡大仏なぜ愛される／日常に溶け込む存在／銅器のまち象徴」
- 7月 2日 北日本新聞「高岡銅器の技法 後世へ／須賀さん ろう型鑄造道具を寄贈」
- 7月12日 富山新聞「西園寺公望から林への書簡公開／高岡市立博物館」
- 7月12日 北日本新聞「西園寺公望の書簡展示／高岡市立博物館 林忠正との親交示す」
- 7月12日 北日本新聞「社説／地域史料の保存／身近な歴史守る努力を」
- 7月14日 読売新聞「西園寺公望の書簡展示／高岡出身の美術商と親交／市立博物館」
- 7月25日 富山新聞「彫金職人の下図帳公開／高岡・古川昇龍堂 花や動物、昆虫精密に」
- 8月 2日 北日本新聞「歴史伝える高岡の「お宝」／市立博物館 特別展／伝統産業や美術紹介」
- 8月 3日 富山新聞「歴史、民俗伝える資料440点展示／高岡市立博物館」
- 8月 7日 北日本新聞「声の交差点／林忠正の偉業再認識 富山市 塩谷 敏文（無職 68歳）」
- 8月11日 富山新聞「高峰博士ゆかりめぐって／高岡市教委スタンプラリー／松楓殿、生家跡コースに／新教材を児童に配布」
- 8月15日 朝日新聞「高岡市立博物館開館50周年記念特別展「高岡のお宝展」」
- 8月18日 富山新聞「先人の貴重な資料見て満足／本江 信隆 81歳(高岡市)」
- 8月21日 富山新聞「高峰博士のNY別荘／松楓殿の工芸品 金沢で初展示／今秋、ふるさと偉人館／高岡市に寄贈の40点 工芸館開館盛り上げ」
- 8月22日 北日本新聞「白銀町所蔵 母衣武者飾り／前田家14代の童具足か／市立博物館が調査」
- 8月22日 北陸中日新聞「展示甲冑 14代加賀藩主の童具足？／開催中の「高岡のお宝展」／北陸大・長谷川教授が見解」
- 8月25日 北陸中日新聞「珍「自然登水車」の設計資料／江戸時代の算学者・筏井満好／永久機関を目指し考案」
- 8月25日 北陸中日新聞「「高岡のお宝展」厳選の品々紹介／「松尾芭蕉像」初公開」
- 8月27日 読売新聞「高岡のお宝 歴史語る／市立博物館50年展／加賀藩主 幼少期の甲冑／「揚水車」研究書」
- 8月28日 北日本新聞「曳山祭テーマ 郷土学習講座／あす高岡市立博物館」
- 8月28日 富山新聞「高岡・中田の万年寺の句碑から／芭蕉ゆかりのつぼ見つかる／「中には墓所の砂」」
- 8月29日 北日本新聞「新聞読んで学力アップ／わくわく 富山湾③／考古・歴史④桜谷古墳／海上交易の王者埋葬」
- 9月 3日 富山新聞「松楓殿の調度品 福岡町に／高峰博士のNY別荘／初の巡回展、60点お目見え／5日から歴史民俗資料館」
- 9月 4日 富山新聞「曳山巡る騒動学ぶ／高岡市立博物館講座」
- 9月 6日 富山新聞「松楓殿の調度品62点／福岡で高峰博士企画展」
- 9月11日 北日本新聞「浅野と高峰 足跡たどる／氷見・高岡の偉人顕彰／来月モニターツアー」
- 9月11日 富山新聞「氷見、高岡、砺波、3市観光団体と企業連携／浅野・高峰ゆかり来月日帰りツアー／11月は東京発2泊3日」
- 9月13日 北日本新聞「古文書解説に挑戦／市立博物館で講座」
- 9月17日 北日本新聞「ウォーク兼ね吉久の歴史／市立博物館に親しむ会 14人が参加」
- 9月17日 富山新聞「吉久地区を巡り郷土の知識深める／高岡で歩く博物館」
- 9月20日 富山新聞「「高岡のお宝」歴史伝える絵図／高岡市立博物館」
- 9月23日 北日本新聞「あなたの知りたい！特報班／桐木町 桜木町 県内2大歓楽街 なぞ木の名前？／「華やか」イメージ戦略か／植えられていた樹木由来」
- 9月23日 富山新聞「社説／浅野・高峰の顕彰／不屈の精神学んで活気を」
- 9月27日 富山新聞「戦国期の知行安堵状／高岡市立博物館 神保氏発給、初公開」
- 9月29日 北陸中日新聞「高峰譲吉 日米親善の足跡 福岡 松楓殿の調度品など展示」
- 9月29日 富山新聞「「藩政期知る助けに」／2メートル四方1800分の1 高岡城下町／観光ボランティアの出口さん制作」
- 9月30日 北陸中日新聞「高岡出身の蘭方医・坪井信良が編集／国内2番目に古い医学雑誌／市立博物館で展示」
- 10月 2日 富山新聞「御田屋にローカル5G／県内商店街で初整備／VRで藩政期の情景／高岡 来年2月に開始」
- 10月 3日 北日本新聞「放生津八幡宮で築山行事／女性判明の人形飾る」
- 10月 8日 北陸中日新聞「国勢調査100年前は？／第1回の調査員資料 高岡市立博物館が所蔵」

10月 8日 北陸中日新聞「浅野総一郎翁 氷見の力に／観光協が「盛り上げる実行委」／ゆかりの地 交流など決定」
 10月 8日 毎日新聞「100年前の資料保管／高岡市立博物館で展示へ／第1回国勢調査 任命状など5点」
 10月 9日 富山新聞「地域福祉に貢献の個人、団体企業表彰／元気ボランティアフェス」
 10月13日 富山新聞「SDGs推進へ連携／全国城下町シンポ 高岡市と地元JC／石破氏が講演」
 10月13日 北日本新聞「高岡の未来 切り開こう／全国城下町シンポ最終日／石破氏と課題考える」
 10月19日 富山新聞「「吉久米」全国に流通／伏木の有力廻船問屋・八坂家／江戸 明治期 北前船で運搬／高岡市立博物館調査
 重伝建に弾み／住民 太鼓や笛で祝う／地元でイベント 街練り歩く」
 10月20日 富山新聞「北前船主の歴史学ぶ／高岡「吉久米」の古文書紹介」
 10月21日 北日本新聞「北前船の歴史読み解く／探求講座 古文書題材に講演」
 10月21日 富山新聞「社説／新たな高岡巡りの要所に／「重伝建」に吉久」
 10月24日 北陸中日新聞「歴史見て感じる「高岡の宝」大正時代の駅前や古城公園など写す／市立博物館 開催中」
 10月28日 富山新聞「多くの方々の目に触れたら／高野 裕子 52歳(富山市・看護師)」
 11月 4日 北日本新聞「古地図や写真展示／市立博物館」
 11月15日 富山新聞「前田利長の手紙で古文書の読み方学ぶ／高岡市立博物館」
 11月18日 富山新聞「木版画で干支や縁起物／高岡市立博物館で講座」
 11月22日 北日本新聞「高岡ゆかりの屏風並ぶ／市立博物館 堀川敬周の大作初公開」
 11月23日 北陸中日新聞「ユースク みんなの取材班／利家公は「初代藩主」？／専門家「無理ある」でも伝統的な呼称／
 明治以降 歴史家が「藩祖」呼び／「最近『藩主』避ける」石川県や金沢市「場面ごと使い分けを」」
 12月 4日 北陸中日新聞「迫力、細密 敬周の屏風／高岡市立博物館2点を初公開」
 12月 5日 朝日新聞「館蔵品展「高岡ゆかりの屏風」」
 12月 6日 富山新聞「地元ゆかり絵師ら手掛けた屏風並ぶ／高岡市立博物館」
 12月 6日 北陸中日新聞「とやま写真館／②片原町通り(1929～30年)／庄方用水 地表を流れ」
 12月11日 北日本新聞「高峰譲吉の所蔵品130点／「松楓殿」展示記念 第2弾／御旅屋セリオで始まる」
 12月11日 富山新聞「華麗 松楓殿の世界／高峰博士の特別展 高岡・セリオ／絵画、椅子、焼き物… 調度品130点」
 12月17日 北日本新聞「県内美術館・博物館の催し」
 12月21日 北日本新聞「回顧2020／史壇 木本 秀樹／史料発見相次ぐ／地域から情報発信」

〔令和3年〕

1月 1日 北日本新聞「たかおか建築ワンダーランド／時代ごとに粋な技」
 1月 3日 富山新聞「たかおかで感動・発見／公共財団法人高岡市民文化振興事業団」
 1月 4日 北日本新聞「高岡の歴史を楽しく学ぼう！／高岡市立博物館」
 1月 7日 北陸中日新聞「堀川敬周が描いた漁樵図屏風を展示／高岡市立博物館」
 1月 8日 北日本新聞「江戸期の高岡を再現／ジオラマ セリオに展示／福岡の出口さん制作」
 1月23日 北日本新聞「古文書解説に挑む／福岡歴史民俗館で講座」
 1月23日 富山新聞「崩し字読解学び和歌音読に挑戦／Uホールで講座」
 1月25日 北日本新聞「高岡初の町絵師 屏風を展示／「漁樵図」2隻」
 2月 5日 富山新聞「天神様 感謝の奉納／高岡・射水神社 受験生の合格祈願」
 2月 5日 富山新聞「天神様清め合格祈願／射水神社 昨年より多い132点」
 2月 5日 北陸中日新聞「古い天神様掛け軸 感謝込め 射水神社 焼納へ願いを解く神事」
 2月 7日 富山新聞「地域ニュース／渋沢の書簡見つかる／高岡市立博物館 朝鮮進出に意欲示す」
 2月 9日 北日本新聞「渋沢栄一の書簡発見／市立博物館 13日から公開」
 2月12日 富山新聞「明治から昭和の生活伝える72点／高岡市立博物館」
 2月12日 富山新聞「わが列車 わが鉄道／中越鉄道の記憶①／合意形成の大切さ学ぶ／「難しい点」乗り越え」
 2月14日 富山新聞「わが列車 わが鉄道／中越鉄道の記憶②／「人望の大矢」が社長に／「政治」「技術」もそろう」
 2月14日 富山新聞「地域ニュース／渋沢の活躍示す新書簡／高岡市立博物館 揮毫の扁額も展示」
 2月14日 北日本新聞「日本遺産をPR／「加賀前田家関連」「北前船寄港地」／6ヵ所でシール配布」
 2月14日 富山新聞「地域ニュース／シール配布や写真展示／高岡「日本遺産の日」PR」
 2月18日 北日本新聞「1940年1月 県内襲った記録的大雪／雪の山 埋もれた民家／高岡の写真見つかる／専門家「当時伝える貴重な史料」」
 2月23日 北日本新聞「江戸期の宿泊施設「高岡御旅屋」／往時の姿 VRで体験／にぎわい創出企画 スタンプラリーも」
 2月23日 富山新聞「高岡御旅屋 VRで再現／商店街振興組合、高岡ケーブル／来月27日からアプリ運用」
 3月 4日 富山新聞「渋沢栄一のお宝を見る／本江 信隆 82歳(高岡市)」
 3月 7日 富山新聞「高岡のろう型 京都で紹介／富山大所蔵 近代銅花器展示／13日から」
 3月 9日 富山新聞「次期市長に期待すること／中田 弘 76歳(高岡市)」
 3月 9日 北陸中日新聞「渋沢 人柄にじむ書簡／高岡市立博物館 大河ちなみ展示／朝鮮情勢伝える新資料」
 3月10日 富山新聞「富大芸文学部「大郷コレクション」／関西で初展示」
 3月13日 北日本新聞「高岡経済の歴史伝える／豪商 岡本家の古文書／市立博物館に8,000点寄贈」
 3月21日 富山新聞「高峰博士の功績学ぶ／高岡LC」
 3月23日 北日本新聞「渋沢栄一と高岡 つながり紹介／市立博物館 書簡展示」
 3月24日 読売新聞「観光新考 2／鋳物400年 伝統と挑戦／「実用性」武器に誘客へ」
 3月28日 北日本新聞「江戸期の御旅屋 高岡城を説明／広島大の三浦名誉教授」
 3月28日 富山新聞「「高岡御旅屋」のVR映像を公開」

Ⅲ 施設の状況

1 沿革

- 昭和44年（1969） 市制施行80周年・開町360年記念事業として高岡市美術館（昭和26年築）に隣接して建設することを決定。
- 8月 建設設計を完了。
- 10月 建設工事を着工。
- 45年（1970） 3月 建設工事を完了。高岡市立博物館条例を公布。
- 6月 高岡市立博物館に関する規則を公布。
- 開館。
- 8月 高岡市立博物館協議会委員委嘱（12人）。
- 46年（1971） 2月 博物館法（昭和26年法律第285号）第10条の規定に基づく公立博物館として文部省及び富山県教育委員会に登録。
- 10月 淡交会高岡支部より茶室を寄贈される。
- 平成6年（1994） 4月 美術館の移転分離により、旧美術館棟を博物館棟（現本館）として財産登録。
- 高岡市立博物館条例を一部改正。
- 8月 高岡市立博物館整備検討委員会設置（以後平成10年1月まで6回会議）。
- 8年（1996） 4月 財団法人高岡市民文化振興事業団へ管理運営委託。
- 10年（1998） 2月 高岡市立博物館整備検討委員会により「高岡市立博物館整備検討委員会報告書」が高岡市に提出される。
- 10月 本館で常設展「郷土の暮らしと文化」開催。
- 12年（2000） 新館1階収蔵庫改修工事の実施。
- 14年（2002） 7月 ホームページを公開。
- 18年（2006） 4月 財団法人高岡市民文化振興事業団が指定管理者となる。
- 19年（2007） 7月 常設展を「高岡ものがたり」にリニューアル。
- 11月 高岡市立博物館整備構想検討委員会設置（以後平成21年度まで継続）。
- 20年（2008） 11月 常設展リニューアル以後の入館者3万人を達成。
- 22年（2010） 2月 高岡市立博物館整備構想検討委員会より「高岡市立博物館整備構想報告書」が高岡市に提出される。
- 10月 デジタルアーカイブ推進事業を開始（～平成25年3月）。
- 23年（2011） 本館収蔵庫改修工事の実施。
- 10月 『二上射水神社文書目録』を編集。
- 24年（2012） 4月 指定管理者の財団法人高岡市民文化振興事業団が公益財団法人に移行。
- 10月 「収蔵資料検索システム－あなたの家が博物館－」の運用開始。
- 25年（2013） 3月 高岡市立博物館に親しむ会設立。
- 4月 佐渡家資料調査事業を開始。
- 常設展示室に「お宝コーナー」開設。
- 6月 常設展「高岡ものがたり」音声ガイド5台導入。
- 27年（2015） 3月 『佐渡家資料目録』を編集・発行。佐渡家資料調査事業を終了。
- 4月 高岡古文書ボランティア部会（親しむ会）設立。
- 28年（2016） 5月 本館入口付近の壁面等落下のため、本館正面玄関を閉鎖。
- 12月 本館正面玄関修繕工事の実施。
- 29年（2017） 6月 国登録有形文化財「高岡鋳物の製作用具及び製品」の国指定重要指定に向けた当館収蔵鋳物資料の調査開始。
- 9月 本館屋根瓦葺き替え工事の実施。
- 10月 本館天井張り替え工事の実施。
- 30年（2018） 10月 博物館サテライトギャラリーの開設（於・高岡テクノドーム）。
- 31年（2019） 3月 高岡市立博物館に親しむ会が発足5周年を迎える。

令和元年 11月 博物館が所蔵(保管)する一括資料目録のネット公開を開始。

令和2年(2020) 4月 新型コロナウイルス感染症拡大のため臨時休館(4/18～5/17)。

6月 高岡市立博物館開館50周年を迎える。

8月 高岡市立博物館開館50周年記念 特別展「高岡のお宝展」を開催(8/1～10/11)。

2 施設概要

所在地 富山県高岡市古城1番5号

敷地面積 1,298.6㎡

建築面積 1,214.91㎡

建築延面積 1,905.21㎡

開館 昭和45年6月1日

構造 鉄筋コンクリート造一部木造平屋建て(本館・事務棟)
鉄筋コンクリート造3階建て(新館)

〔本館〕

エントランスホールB ……81.00㎡

第1常設展示室 ……243.00㎡

第2常設展示室 ……145.80㎡

休憩室 ……35.64㎡

〔新館1階〕

収蔵庫A ……48.50㎡

第1企画展示室 ……97.20㎡

〔新館2階〕

第2企画展示室 ……145.80㎡

第3企画展示室 ……51.84㎡

〔新館3階〕

講堂 ……145.80㎡

収蔵庫C ……64.80㎡

展示用具倉庫 ……17.70㎡

〔事務棟〕

収蔵庫B ……48.50㎡

館長室 ……49.50㎡

事務室 ……27.50㎡

〔茶室〕

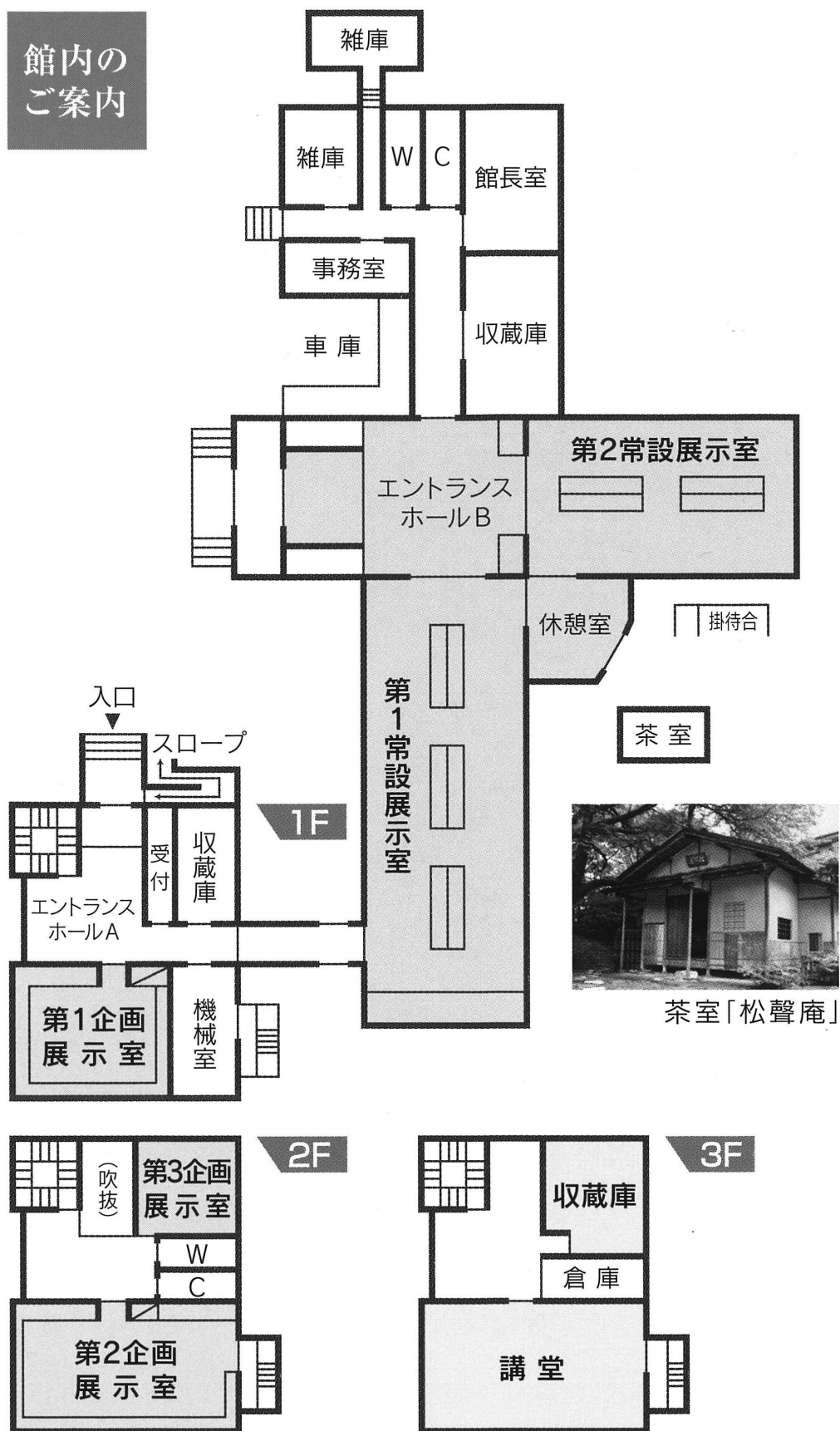
九畳本勝手下座床・水屋付き ……29.48㎡

腰掛待合 三畳半 ……11.08㎡



博物館前景

館内のご案内



茶室「松聲庵」

3 利用案内

- ①開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
②休館日 月曜日（ただし月曜日が祝・休日の場合は開館し、翌平日が休館）
年末年始（12月29日～1月3日）

③入館料 無料

④施設利用料（税抜）

〔企画展示室〕一日につき	第1企画展示室	3,000円
	第2企画展示室	4,500円
	第3企画展示室	1,500円

〔茶室〕一日につき 4,000円

⑤交通

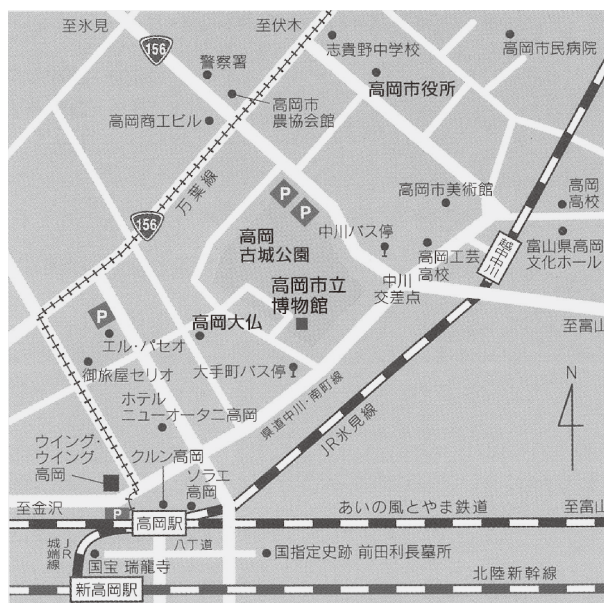
〔JR新高岡駅より〕・南口バス乗り場（1番または2番）で加越能バス「高岡駅」方面に乗車、「高岡駅南口」バス停下車

・JR城端線で高岡駅へ

〔高岡駅より〕・加越能バス「市民病院・職安前」行き、「大手町」バス停下車、徒歩5分
・徒歩約15分（高岡駅前より北東約1km）

〔自動車〕・能越自動車道 高岡ICから約20分
高岡北ICから約25分
・北陸自動車道 高岡砺波スマートICから約15分
小杉ICから約30分
砺波ICから約30分

〔周辺略図〕



高岡市立博物館年報 第35号

令和2年度

発 行 日 令和4年2月25日

編集・発行 高岡市立博物館
〒933-0044 富山県高岡市古城1-5
TEL : 0766-20-1572
FAX : 0766-20-1570
URL : <https://www.e-tmm.info/>

印 刷 キクラ印刷株式会社